

ページ数や行数は、初版第 9 刷のもので、それ以前の刷とは、最大で 1 ページずれていることがあります。

ミスプリントなどを修正するために必要な、加筆・修正・変更点

- p.163, 式 (5.67) の 3 行下
 $E \simeq 14eV$ $E \simeq -14eV$
- p.256, 問題 5.5 解答 2 行目
 r の表式の分子の 2 を削除

間違っているわけではないが、わかりやすく改良するための加筆・修正・変更点

- p. xi, 4.4 節の表題
スเปードマークを削除
- p. 22, 2.4 節の冒頭
閉じた系 (closed system) と言い、

閉じた系 (closed system) または孤立系 (isolated system) と言い、
- p.38, (3.29) の直後
その定数倍 その (ゼロでない) 定数倍
- p. 44, 3.6 節冒頭
(3.28) と $|a\rangle$ の内積をとり

 $|a\rangle$ と (3.28) の内積をとり
- p.48, (3.68) の直後
(3.65) と $|a\rangle$ の内積をとると

 $|a\rangle$ と (3.65) の内積をとると
- p. 127, 4.4 節の表題
スเปードマークを削除
- p. 178, (5.119) のすぐ上の文
固有ベクトルを $|n\rangle$ とする：

固有ベクトルを $|n\rangle$ とする (縮退がない理由は後述)：

- p. 178, (5.122) の直後の文章

と判るので、 \hat{n} は、 \hat{a} と \hat{a}^\dagger と交換しない。このことから、 \hat{n} と交換する \hat{a}, \hat{a}^\dagger の関数は \hat{n} の関数になっているものだけであることが判る。全ての物理量は \hat{a}, \hat{a}^\dagger の関数として表せるのだから、

を得る。これと (5.116) を用いれば、 \hat{n} は \hat{q} と \hat{p} と交換せず、 \hat{n} と交換する \hat{q}, \hat{p} の関数は \hat{n} の関数になっているものだけである、と判る。全ての物理量は \hat{q}, \hat{p} の関数として表せるのだから、

- 索引に次の項目を加える

孤立系 (isolated system), 22

以上